

台東区谷中モビリティサポートモデル事業 ～誰にも分かり易く、便利で楽しい、しかも安心な街歩きの実現～

台東区谷中モビリティサポート事業推進協議会

1. 事業概要

台東区谷中地区は、下町情緒が色濃く残る地域となっており、外国人をはじめ多くの方が年間を通じて訪れています。

一方で、路地文化に代表されるような町なみは、坂道や幅員の狭い道路などが多く存在しており、それらは高齢者等の移動制約者が移動する際にはバリアとなることから、誰にとっても安心な街歩きの実現に向けては、移動支援サービスの導入が課題となっております。また、外国人観光客にとって、その移動経路の多くが住民の居住空間と重なっており、目的地までの経路情報の入手がしにくいといった課題があります。

そこで、国土交通省の平成 22 年度モビリティサポートモデル事業として、台東区谷中地区において、高齢者や外国人観光客の参加モニターを対象に、携帯電話と電子透かし QR (Quick Response) を活用した経路案内情報サービスを提供するシステムを構築し、有効性検証のための実証実験を行っています。



2. 提供サービスとシステム概要

台東区では、従前より谷中地区を訪れる方の移動支援のため、街頭に案内板を設置してきました。今回の実験では、電子透かし QR を該当の案内板や路面に設置し、そこに付与された場所情報コードから対象者の位置情報を取得し、経路案内や周囲のバリア情報の提供といった移動支援サービスを提供します。

このシステムを用いて、高齢者や外国人観光客等の移動制約者を対象に、これまでの「見る」だけでなく、「目的地までの経路情報」や「公共トイレ等の情報」を手軽に入手し、持ち運べる利点について検証を行います。



図3: 経路案内表示例

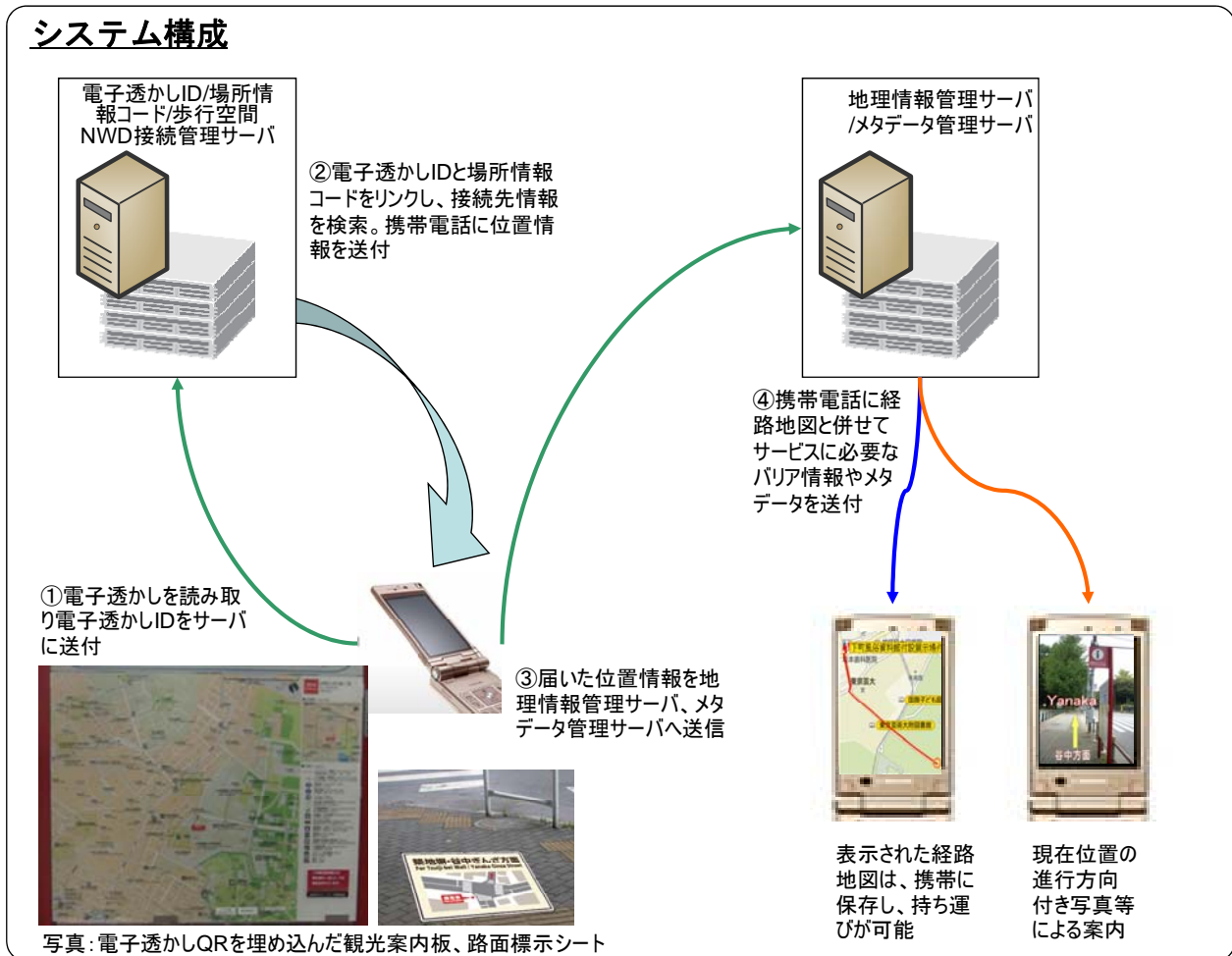


図4：移動支援システムの構成

3. 実施概要

実験対象者：高齢者、外国人観光客

実施期間：平成22年11月24日(水)から平成22年12月24日(金)まで

実験エリア：台東区谷中地区

位置特定の方法：電子透かしQRコード(案内板や路面に設置)

利用可能な端末：NTT Docomo カメラ機能つき携帯電話

サービス概要：経路案内、進行方向付き現在地写真表示、観光資源情報(二カ国語対応)

4. 次年度以降の取り組みについて

高齢者や外国人観光客等の移動制約者への情報提供サービスの充実やバリア情報等を含む経路案内サービスは公共性が強く、今後とも行政による取り組みが必要と考えています。このため、次年度以降は隣接区(文京、荒川)との連携も視野に入れた観光案内サービス等の充実に向けて、引き続き検討体制を維持していきたいと考えています。

携帯電話を使って、観光案内板や路面標示に付けられたマークから、
(高度地図)
 観光施設までの案内地図や観光情報が入手できます。

操作方法

- ①アプリの起動
i^o ボタンを長押し → アプリを選択
- ②観光案内板や路面標示のマークを撮影して読み取り
- ③表示される URL から案内地図・写真や情報を取得

※貸し出しする携帯電話をご利用ください。
 ※一般の方もご自身の携帯電話（Docomoに限る）で参加できます。大容量のデータを受信するため、パケット定額サービスへの加入状況をご確認ください。詳しくは、係員にお申し付けください。

観光案内板

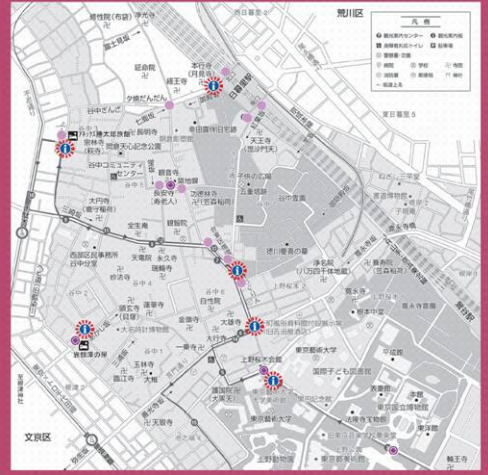


案内地図・写真や情報が
入手できます

表示された地図はページ保存して、まち歩きにご活用ください。

まちなかに設置された
観光案内板や路面標示から
観光情報にアクセス！

- 観光案内板 携帯電話を使って、目的地までの案内地図や写真や観光施設の情報を入手することができます
- 路面標示 観光施設までの行き方を案内しています



■お問い合わせ

台東区谷中モビリティサポート事業推進協議会事務局

(台東区文化産業観光部にぎわい計画課内) 電話03-5246-1141

http://www.city.taito.lg.jp/index/bunka_kanko/bunkakanko/mobirithi.html